

# 「music.jp ニュース」CMS へ PR TIMES 素材データを自動ストック、 記事生産性を上げるシステム連携を開始

～ プレスリリース本文・ビジュアルのデータを管理画面へ収録し、最新ネタを書きやすい編集環境に ～

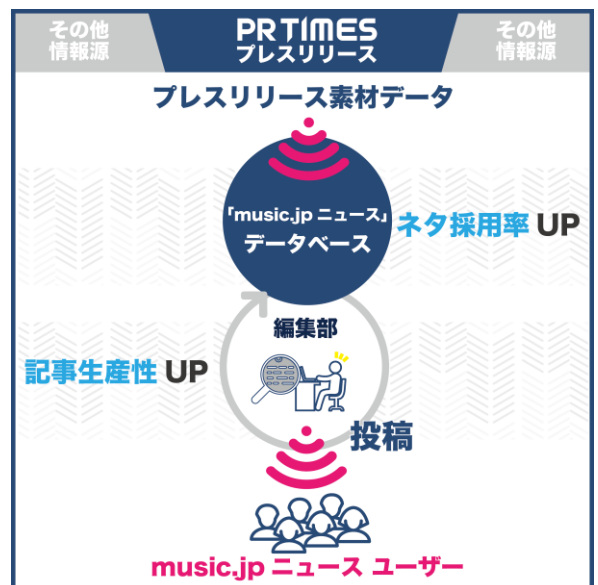
## 【トピックス】

- ・最新のエンタメ情報配信サービス「music.jp ニュース」とプレスリリース配信サービス「PR TIMES」がシステム連携
- ・「PR TIMES」で配信されるプレスリリース素材(本文やビジュアル)を、編集部は記事投稿システムから使用可能に
- ・「music.jp ニュース」の記事生産性を高めるデータ連携

株式会社 PR TIMES(所在地:東京都港区、代表取締役:山口拓己、東証マザーズ:3922)は2017年6月6日(火)より、運営するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」に集積している記事素材のデータベースから、株式会社エムティーアイ(本社:東京都新宿区、代表取締役:前多俊宏)が運営する最新のエンタメ情報配信サービス「music.jp ニュース」CMSへ、記事素材データを自動ストックするシステム連携を開始することを発表いたします。

(※CMS…コンテンツ・マネジメント・システム。Web サイトのコンテンツ作成・管理を行うシステム。)

このデータ連携により、「music.jp ニュース」編集部は、記事投稿システムのデータベースに「PR TIMES」経由のプレスリリース素材(本文やビジュアル)が既に収録された状態から、必要なデータをスムーズに記事に引用することができるため、ネタ探し・素材入手・記事投稿システム入稿のコストが大幅にカットされ、記事生産性が高まります。



同時に「PR TIMES」の素材が記事に採用される確率も自然と高まることが想定され、最新の音楽、マンガ、電子書籍、動画配信などエンタメニュースを取り扱う「music.jp ニュース」への情報提供を積極的に行いたいと考える企業広報担当者にとって、「PR TIMES」を介するプレスリリース配信は効果的なアプローチとなります。

## ◆上場企業 32%が利用するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」

<https://prtimes.jp/>

## ◆最新のエンタメ情報配信サービス「music.jp ニュース」

<http://music-book.jp/news>

## 「music.jp ニュース」の記事ネタデータベースへ最新プレスリリース素材を自動提供

「music.jp ニュース」ではこれまでトレンド情報を記事掲載していましたが、トレンド分析・情報収集、素材入手、記事執筆、入稿作業など、多くの工数において手動運用が必要となっていました。トレンド情報記事の増産の必要性を感じながらも、生産コストが膨らんでしまうという現実がありました。

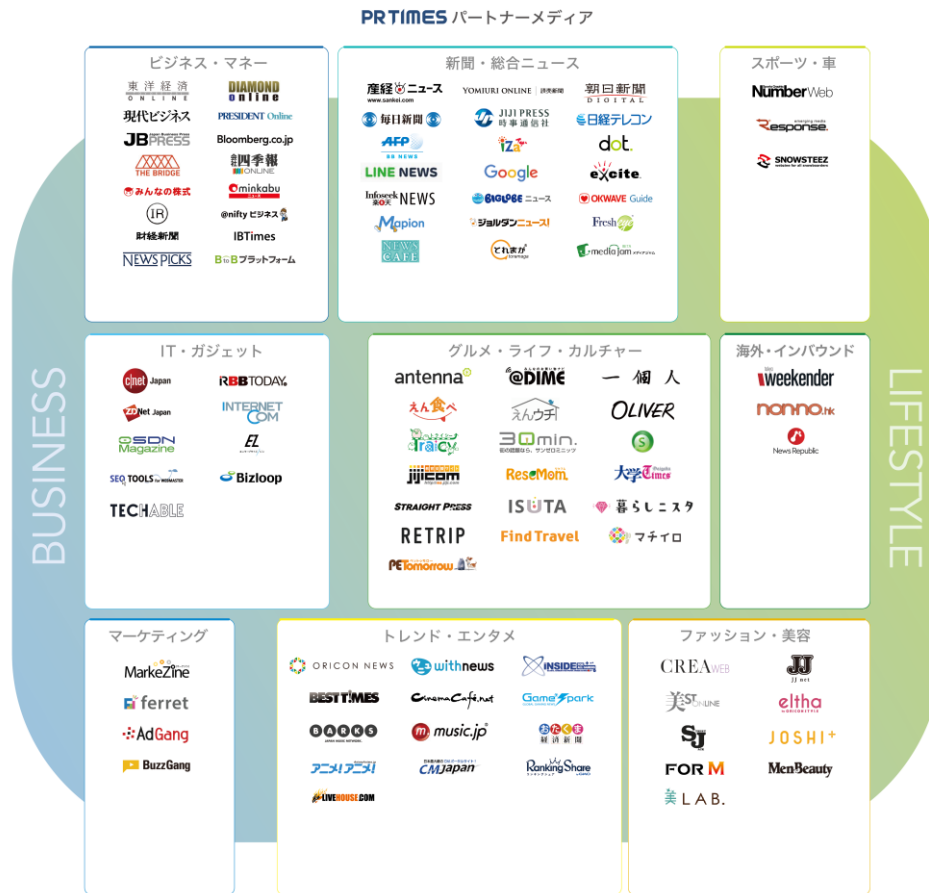
そこで「music.jp ニュース」では、あらかじめ記事素材を記事投稿システムのデータベースに取り込んでおくことで運用を一部自動化する構想を持ち、良質で豊富なトレンド情報を有する「PR TIMES」とのデータベース連携に取り掛かりました。企業情報がニュースとして生活者に届く機会の最大化を目指していた「PR TIMES」と双方にメリットがあったことから、開発連携を進め、記事素材データを自動ストックするシステム連携の実現に至りました。

「music.jp ニュース」記事投稿システムには、タイムリーかつ自動的にプレスリリース素材が収録された状態となり、そこから自由に記事編集や画像選択が可能となるため、情報収集、素材手配、記事執筆、入稿作業の大幅なコスト圧縮となり、これまでよりずっと記事生産性を高めることができます。

## PR TIMES パートナーメディアは 97 媒体に

今回の提携により、「PR TIMES」パートナーメディアは総計 97 メディアとなりました。

PR TIMES はこれからも、外部メディアとの連携を図りながら、生活者に伝わるルート開拓を追求することで、より広範なステークホルダーへ企業情報を伝えてまいります。



### 【「music.jp ニュース」媒体概要】

URL: <http://music-book.jp/news>

株式会社エムティーアイが運営する、音楽・動画・書籍を配信する総合サイト「music.jp」が提供するニュースサービスです。

「music.jp ニュース」では、音楽／マンガ／書籍（電子書籍）／ドラマ／アニメ／映画など、様々な最新エンタメ情報を毎日お届けします。



### 【「PR TIMES」について】

URL: <https://prtimes.jp/>

「PR TIMES」は、2007年4月のサービス開始より、報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信する機能と、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載する機能をセットで提供してまいりました。利用企業数は2017年4月に17,000社に到達、国内上場企業32.1%に利用いただいています。サイトアクセス数も伸張しており、2016年9月には初の700万PVを突破し月間738万PVを記録しました。配信プレスリリース本数も増加しており、2017年3月は過去最高の月間8,262本を記録しています。大企業からスタートアップ、地方自治体まで導入・継続しやすいプランと、報道発表と同時に生活者にも閲覧・シェアしてもらえるコンテンツ表現力を支持いただき、成長を続けています。



### 【株式会社 PR TIMES 会社概要】

- 会社名 : 株式会社 PR TIMES (東証マザーズ 証券コード:3922)
- 所在地 : 東京都港区南青山 2-27-25 オリックス南青山ビル 3F
- 設立 : 2005年12月
- 代表取締役 : 山口 拓己
- 事業内容 : プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>)の運営  
オンライン上で話題化を図るデジタル PR の戦略立案・実施  
ソーシャルメディアユーザーのためのモニターサービス「conecc」(<https://conecc.jp/>)の運営  
ブログマーケティングサービス「ブログタイムズ」(<https://blogtimes.jp/>)の運営  
カスタマーサポートツール「Tayori」(<http://tayori.com/>)の運営

URL : <http://prtimes.co.jp/>

